

《一般会計》

1 平成30年度当初予算案の規模

46,968,000千円（対前年度571,060千円 増）

（単位：千円）

区 分	平成30年度	平成29年度 （6月補正後）	増減額	増減率
当初予算規模 （一般会計）	46,968,000	46,396,940	571,060	1.2%

○平成30年度当初予算案の概要について

平成 30 年度の一般会計予算の総額は 469 億 6,800 万円で、前年度と比べ、金額にして 5 億 7,106 万円、率にして 1.2%の増額となっています。なお、平成 29 年度予算は骨格・肉付予算を含めた 6 月補正後の予算を前年度予算として比較しています。

歳出については、災害対策として、津波避難タワーや人工高台等の整備を行う「災害対策施設整備事業」、過疎・地域支援対策として、それぞれの地域の特性を生かしたまちづくりを行うための「佐伯創生推進総合対策事業」、少子化・高齢者対策として、保育所の整備を行う「保育所等整備交付金事業」・「つるおか保育所（仮称）建設事業」等を主な事業として予算計上しています。なお、一般会計の事業において各項目別の主要事業は下記表のとおりです。

また、財源である歳入については、市税は個人市民税が増額となっているものの、法人市民税や固定資産税等の減に伴い市税全体では減額したほか、普通交付税についても合併算定替加算分の縮減等を考慮して減額とし、これらに伴う財源の調整を財政調整基金及び減債基金により行っています。

その結果、基金については、財政調整基金及び減債基金の両基金で約 32 億 9,700 万円を取り崩し、両基金の年度末残高を約 96 億円としています。

地方債については、起債予定額を 62 億 6,880 万円、元金償還額を約 68 億 8,100 万円予定しており、年度末残高を約 519 億 3,200 万円と見込んでいます。

▼項目別の主な事業

（単位：千円）

No.	項目	事業名	事業費	No.	項目	事業名	事業費
① 災害対策		災害対策施設整備事業	231,434	⑤ 農林水産業の振興		活力あふれる園芸産地整備事業	100,820
		津波避難施設台帳作成事業	4,868			有害鳥獣捕獲事業	112,440
		土砂災害・河川浸水ハザードマップ作成事業	26,084			東京オリンピック・パラリンピック選手村建設部材提供事業	3,568
		自主防災事業	15,226			入津湾緊急赤潮対策事業	2,400
		防災・行政ラジオシステム整備事業	77,256			入津地区漁港施設機能強化事業	120,010
② 過疎・地域支援対策		コミュニティ交通整備事業	85,014	⑥ 社会資本の整備		道路新設改良単独事業	311,984
		地域おこし協力隊設置事業	74,495			道路新設改良交付金事業	660,209
		祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進事業	15,952			女島橋架替事業	40,000
		移住者居住支援事業	38,800			濃霞山公園整備事業	66,426
		がんばる里・浦地域活力向上事業	20,036			大手前開発事業	916,389
		佐伯創生推進総合対策事業	128,000			上城地区 防災・避難広場整備事業	35,017
③ 少子化・高齢者対策		社会福祉協議会補助事業	74,440	⑦ 教育の充実		スクール・メンタルケア推進・充実事業	13,247
		さいきの茶の間運営事業	3,744			子ども特別支援ネットワーク整備事業	56,929
		特別養護老人ホーム豊寿苑改修等事業	124,798			子どもの歯の健康づくり推進事業	4,362
		私立保育所等運営事業	1,402,118			幼稚園エアコン整備事業費	26,000
		保育所等整備交付金事業	369,431			国民文化祭開催事業	56,070
		つるおか保育所（仮称）建設事業	546,561			佐伯市図書館システムクラウド化事業	21,708
		乳幼児健康診査事業	9,485				
④ 観光・商工振興対策		実践型地域雇用創造事業	44,988				
		企業立地助成金事業	318,491				
		インバウンド推進事業	8,800				
		九州オルレさいき・大入島コース運営管理事業	2,400				
		グランピング促進事業	7,743				
		海外戦略推進事業	5,074				